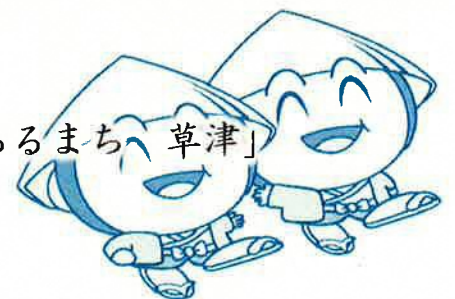


# 平成31年度 当初予算概要



「出会いが織りなす ふるさと

“元気”と“うるおい”のあるまち「草津」



せうばり草津がっし

## 草津市

## ◎平成31年度 会計別予算規模

(単位：千円 %)

会 計 名	平成31年度当初			平成30年度当初		増減額	
	予算額	構成比	対前年	予算額	構成比		
一 般 会 計	52,600,000	60.7	3.7	50,700,000	60.2	1,900,000	
特 別 会 計	国民健康保険事業	11,962,900	13.8	1.3	11,804,700	14.0	158,200
	財産区	68,000	0.1	△ 88.1	572,600	0.7	△ 504,600
	学校給食センター	630,200	0.7	1.6	620,500	0.7	9,700
	介護保険事業	8,286,200	9.6	4.0	7,969,600	9.5	316,600
	後期高齢者医療	1,352,500	1.6	2.4	1,321,200	1.6	31,300
	水道事業	4,637,000	5.3	4.3	4,445,000	5.3	192,000
	下水道事業	7,111,000	8.2	5.5	6,739,000	8.0	372,000
	特別会計の計	34,047,800	39.3	1.7	33,472,600	39.8	575,200
合 計	86,647,800	100.0	2.9	84,172,600	100.0	2,475,200	



# 平成31年度予算編成方針（抜粋）

～第5次草津市総合計画が目指す将来のまちの姿～



## ● 「第5次草津市総合計画」を念頭に置いた予算見積り

「第5次草津市総合計画」に掲げられた以下の4つの“まちづくりの基本方向”を念頭に置き、各分野において効果的に目標が達成されるように予算見積りを行うとともに、施策評価を反映した見積り内容とすること。

まちづくりの 基本方向	(1) 「人」が輝くまちへ	(2) 「安心」が得られるまちへ
	(3) 「心地よさ」が感じられるまちへ	(4) 「活気」があふれるまちへ

## ● 重点施策等への戦略的な財源配分

歳出全体の徹底した洗い直しや、制度・施策の抜本的な見直し、優先順位の厳しい選択により、限られた財源の戦略的な配分を行うため特別枠を設ける。

重点施策		
(1) 「防災・安全のまちづくりの推進」	(2) 「教育の充実」	(3) 「子育て支援の充実」
(4) 「高齢者福祉の充実」	(5) 「スポーツ健康づくりの推進」	

## 第5次草津市総合計画第3期基本計画リーディング・プロジェクト【重点方針】

(1) 「健幸都市」づくりの推進	(2) 子育て・教育の充実
(3) “まちなか”を活かした魅力向上	(4) コミュニティ活動の推進

## ● まち・ひと・しごと創生への取組

今後の人口減少局面に適切に対応するとともに、これからも魅力的で持続可能な基礎自治体として発展し続けていくため、平成27年度に策定した「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、総合的かつ戦略的な事業展開を図ること。

## ● 「健幸都市」づくりの推進

「草津市健幸都市基本計画」に基づき、個人や地域の健康づくりに加えて、産学公民の連携、健康産業の振興、都市計画や公共インフラ整備の観点からの健康へのアプローチなど、健幸都市の実現を目指した予算見積りとすること。

## ● 健全財政の維持

今後も健全で持続可能な財政運営を維持していくため、「財政規律ガイドライン」に示した各種財政指標の目標数値を達成するための取組を反映した上で、予算を見積ること。

## ● 行政システム改革の推進

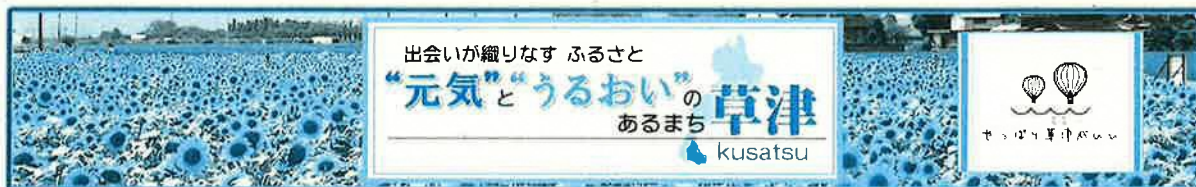
市全体を俯瞰し、長期的な視点での財政負担の抑制と職員の負担軽減を意識しながら、必要性や有効性の観点から全ての事業をゼロベースで厳しく検証し、事業の廃止を含めた見直しを計画的に行うとともに、アウトソーシングの推進などによる、効果的かつ効率的な行政システムを実現するための取組を着実に実行すること。

## ● 予算編成過程の透明化

①予算見積、②総務部内示、③部長間調整、④市長査定の各段階において、予算編成過程の情報開示を行い、見積・審査の金額を公表する。また、各部局で定める部局別予算見積方針についても公表することから、これらの公表を念頭に置いた予算見積りを行い、市民への説明責任を果たすこと。

## ● 現場主義の徹底

地域社会の課題解決を図るために現場の声を十分に聞き、現状を正確に把握した上で、予算を見積ること。





# 重点施策および第5次草津市総合計画 第3期基本計画リーディング・プロジェクト



限られた財源の戦略的な配分を行うため、「市民との協働のまちづくり」を基本に以下の重点施策等を推進するものとする。



第5次草津市総合計画第3期基本計画リーディング・プロジェクト④「子育て・教育の充実」は、重点施策②および③の再掲となるため、省略しています。



# 高齢者福祉の充実

## 総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)



(単位:千円)

事業名	高齢者フレイル予防事業費			区分	新規
平成31年度 事業費	担当部署 所属 健康福祉部			長寿いきがい課・健康増進課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,284				諸	878
					1,406

＜事業の概要＞

高齢化が急速に進行する中、健康寿命を伸ばし、各々が住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心して暮らし続けるためには、介護予防や生活習慣病の疾病予防・重症化予防等への取組が重要です。そのため、フレイル予防の観点に着目し、新たに介護予防拠点等での健康教室や、地域サロン等でのフレイル予防活動(専門職種の派遣)を実施します。

【主な内容】

- ・介護予防拠点(ロクハ荘、なごみの郷)等でのフレイル予防健康教室の開催  
健康推進員の活動を通じた啓発
- ・地域の特性を活かしたフレイル対策  
地域サロン等でのフレイル予防活動(専門職種の派遣)  
かかりつけ医等普及促進事業との連携講座  
(出前講座:おでかけドクターとお気軽トーク、おでかけ薬剤師とお気軽トーク)

※フレイルとは・・・高齢者の身体機能や認知機能が低下して、虚弱となった状態で、要介護予備軍とされています。フレイル予防には各々に合わせた適切な対応と、より早期からの「栄養」「運動」「社会参加」の三位一体での包括的な取組が重要です。

＜事業の目的・効果＞

身近な地域や介護予防拠点等において、介護予防と保健事業が一体となったフレイル予防を実施し、高齢者が参加・利用しやすい環境を整えることにより、高齢者の健康を保持・増進し、健康寿命の延伸につなげます。



経費の内訳	
介護予防拠点等での	
健康教室開催費	1,472
健康推進員活動啓発費	258
地域サロン等でのフレイル予防費	284
かかりつけ医等普及促進事業費	270



# 高齢者福祉の充実

(単位: 千円)

事業名	「(仮称)認知症があっても安心なまちづくり条例」 検討費			区分	新規
平成31年度 事業費	担当部署 所属 健康福祉部			長寿いきがい課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
655	252	126		繰保 126	
				151	

＜事業の概要＞

今後、高齢化がさらに進行し、認知症高齢者が増加することを見据え、草津市認知症施策アクション・プランに掲げる「認知症があっても安心して生活できるまちの実現」を図るため、認知症施策に関する基本的な理念や取組の方向性、関係者等の責務や役割などを定めた条例の制定に向けた検討を行います。

【主な内容】

「(仮称)認知症があっても安心なまちづくり条例」の制定

【主なスケジュール】

- 平成31年6月～11月 認知症施策推進会議(審議)
- 平成31年12月 骨子案の策定
- 平成32年1月～2月 パブリックコメントの実施
- 平成32年3月 認知症施策推進会議(条例案の確定)

＜事業の目的・効果＞

認知症の人の意思が尊重され、住み慣れた地域の環境のもとで安心して自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指し、認知症施策に関する基本的な理念や取組の方向性、関係者等の責務や役割などを規定した条例を制定することで、市民、事業者、地域および行政が一体となった地域づくりを進めます。

認知症があっても安心して生活できるまちの実現をめざして



経費の内訳

認知症施策推進会議委員報酬	501
先進地視察旅費	39
その他事務費	115





# 高齢者福祉の充実

(単位:千円)

事業名	地域密着型サービス施設等整備費補助金			区分	新規
平成31年度 事業費	担当部局 所属 健康福祉部			介護保険課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
123,830		123,830			

### <事業の概要>

本市では、草津市介護保険事業計画(草津あんしんいきいきプラン)第7期計画に基づき、介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)等の施設の整備を進めています。

地域密着型特別養護老人ホーム(1施設)の整備に関して、整備費用の一部を支援することで事業者の負担を軽減し、施設の整備を進めます。

※地域密着型特別養護老人ホームは、定員が29名以下で、施設が所在する市町村の被保険者のみ利用することができます。原則、要介護3以上の方を対象に、入浴、排泄、食事等の介護、その他日常生活の支援、機能訓練、健康管理および療養上の世話をを行います。

### 【主な内容】

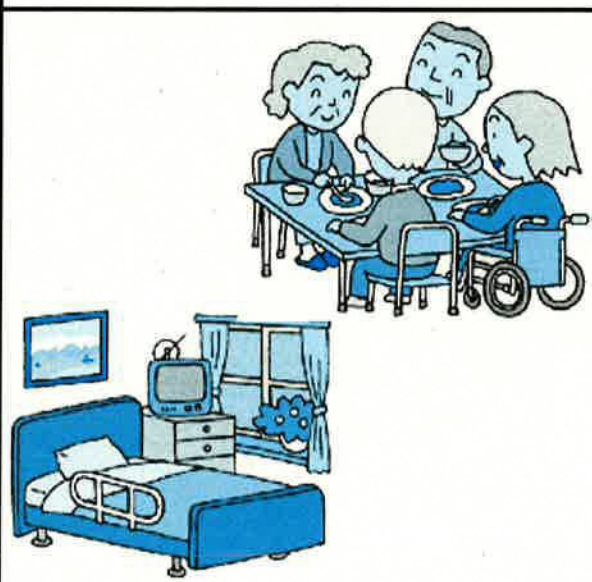
地域密着型サービス施設等整備費補助金(427万円×29床)

### 【スケジュール】

平成31年度 施設整備に対する補助金交付  
平成32年度 施設開所

### <事業の目的・効果>

地域密着型特別養護老人ホームの整備を支援することで、介護が必要となり、在宅での生活が困難になっても、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができます。



経費の内訳	
施設等整備費補助金	123,830



# 総合計画リーディング・プロジェクト(「健幸都市」づくりの推進)

(単位:千円)

事業名	健幸都市づくり推進費			区分	拡大
平成31年度 事業費	担当部局・所属 健康福祉部・関係各部			健康福祉政策課・関係各課	
	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,121	1,077				3,044

## <事業の概要>

市民が生きがいをもち、住む人も訪れる人も健やかで幸せになれる「健幸都市くさつ」の実現を目指す「草津市健幸都市基本計画」に基づき、行政や地域、大学、企業・団体等、あらゆる主体が連携し、市の総合政策として健幸都市づくりに向けた取組を進めます。



## 【主な内容】

- ・健幸づくり推進拠点の整備
- ・楽しく歩くための仕掛けづくりのデザイン案の検討
- ・「健幸都市くさつ」の広報・啓発
- ・「草津・たび丸Kitchen」を活用した食育推進
- ・食品ロス削減に健康づくりの取組を加えた「3010運動+(プラス)」の推進
- ・健幸都市及び地域共生社会の実現に向けたセミナーなどの実施

## <事業の目的・効果>

誰もが生きがいをもち、健やかで幸せに暮らし続けられる健幸都市の実現に向けた取組を進めることで、将来訪れる人口減少や超高齢化への対応を図るとともに、持続可能な社会の構築を目指します。

行政や地域、大学、企業、団体等それぞれの主体が健幸づくりを「我が事」として意識し、様々な施策を「丸ごと」進めていくことができるよう、健幸都市づくり関連事業を一体的に実施していきます。



<健幸都市のイメージ>

## 経費の内訳

健幸づくり推進拠点整備費	1,125
UDCBK社会実験準備事業費	500
「健幸都市くさつ」広報・啓発費	332
「草津・たび丸Kitchen」 食育推進費	314
3010運動+(プラス)の推進費	899
地域共生社会実現への推進費	951